

平成31年度当初予算における新規・充実事業予算の要求内容と査定結果【事業を実施するもの】

(単位：千円)

事業名	環境政策局 予算要求の内容		査定結果	
	事業概要	要求額	予算額	内容
I P C C総会京都市開催記念事業	<p>気候変動に関する政府間パネル（I P C C）第49回総会が2019（平成31）年5月に本市で開催される。</p> <p>これを受け、京都議定書誕生の地であり、2017（平成29）年12月に発表した「持続可能な都市文明の構築を目指す京都宣言」の宣言主体である本市の責任と役割を踏まえ、I P C C総会開催に合わせたシンポジウムの開催などを通じて、市民、事業者をはじめ、国内外の地球温暖化対策に関する更なる意識の向上、活動促進の機運醸成を図る。</p>	5,300	5,300	<p>■要求どおり</p> <p><input type="checkbox"/>積算内容精査</p> <p><input type="checkbox"/>積算単価の精査</p> <p><input type="checkbox"/>数量等の精査</p> <p><input type="checkbox"/>事業内容精査</p> <p><input type="checkbox"/>事業手法の精査</p> <p><input type="checkbox"/>規模の精査</p> <p><input type="checkbox"/>年次割の精査</p>
使い捨てプラスチック削減推進事業	<p>プラスチックによる海洋汚染が世界的な問題となっていることを機に、国によるレジ袋有料化義務化など使い捨てプラスチックの削減に向けた動きが広がっている。</p> <p>これを踏まえ、レジ袋有料化が進んでいないコンビニやドラッグストアのほか小売店での実施を視野に入れ、食品スーパーでのレジ袋有料化の経験を活かし、実施に向けた事業者との連携、支援を進める。また、環境負荷が高いペットボトルをはじめとする使い捨てプラスチック飲料容器やプラスチック製ストロー等を削減するため、マイボトルの更なる利用促進を図るとともに、清涼飲料水の4割以上を水及び茶系飲料が占めている現状を踏まえ、環境にやさしい水道水の利用促進、急須でお茶を淹れて楽しむ等の生活文化の定着を図り、使い捨て飲料容器の使用を抑制していく。</p>	5,200	5,200	<p>■要求どおり</p> <p><input type="checkbox"/>積算内容精査</p> <p><input type="checkbox"/>積算単価の精査</p> <p><input type="checkbox"/>数量等の精査</p> <p><input type="checkbox"/>事業内容精査</p> <p><input type="checkbox"/>事業手法の精査</p> <p><input type="checkbox"/>規模の精査</p> <p><input type="checkbox"/>年次割の精査</p>